

差出人: 大分県建築士会大分支部 <info2@oita-shikai.or.jp>
送信日時: 2023年12月27日水曜日 9:02
宛先: info2@oita-shikai.or.jp
件名: ★事務局ニュース★No.116

2014(平成26)年5月23日創刊



No.116

2023(令和5)年12月27日発刊

目次

必見!! 会員増強特別期間について

報告

- ① 第8回おおいた建築セミナーin竹田の開催
- ② 県本部 令和5年度第2回理事会の開催
- ③ 被災建築物応急危険度判定実施研修会の開催
- ④ 令和5年度第2回大分支部常議員会の開催

⑤ 建築物グリーン化促進事業

「令和5年度第2回ネットワーク会議」の開催

⑥ まちづくり・建築よろず相談会の開催

案内

① 今後のイベント等(来月開催予定)

- ★①. 建築物グリーン化促進事業 「令和5年度
第2回技術者向け研修会」の開催 @大分センチュリーホテル

② 定期スケジュール(来月開催予定)

- ☆①. 監理技術者講習の開催
- ☆②. 建築士定期講習の開催
- ☆③. 既存住宅状況調査技術者講習(新規・更新講習)の開催
- ☆④. まちづくり・建築よろず相談会の開催

③ 連合会からのご案内

- ▲1. 建築士賠償責任補償制度(けんばい)
- ▲2. 民間(七会)連合協定工事請負契約約款の改正
- ▲3. 民間(七会)連合協定 小規模建築物工事約款、
マンション修繕工事約款、
リフォーム工事約款の改正について(お知らせ)
- ▲4. 免状型の一級建築士登録証明書の発行

④ 図書・書式のご案内

- ▲1. 各種契約書類及び契約約款(改正版)の発刊

連載 まっちゃんの伝建地区を巡る旅

第11回(番外続編) フランス「モンサンミッシェル」

連載 ザキヤマさんの秘境奇行

隔月寄稿としました。来月をお楽しみに!!

交流ひろば

残念ながら、今月は寄稿がありませんでした。

掲 示 板

大分支部青年部「班員の募集」について

大分支部 賛助会員一覧

→事務局よりお知らせ

※掲載された写真等をご希望の方は、事務局へご連絡ください。

地域とともに 暮らしとともに 人とともに

大分県建築士会 大分支部

必見!! 会員増強期間について 「先ず、誘う声掛け」から

先日の大分支部「第2回常議員会」および「第2回理事会」でも決議されましたが、例年どおり1月から3月末までを、「会員増強特別期間」と位置付けて、新規建築士及び非会員の建築士会入会を集中的に実施します。

「先ず、誘う声掛け」から始めましょう!! 会員増強のため皆さんの周りにいる建築士等の方に、入会のお声がけをお願いします。会員の皆さんの絶大なるご協力をお願いします。

【参考: 特別期間中の新規入会者の特典等】

○特別期間 令和6年1月～3月末

○入会者特典 特典① 新規入会金の免除

特典② 入会から3月まで会費の免除

特典③ 九州建築士の集い 全額補助(交通費、宿泊費、参加費、
交流会費 /ただし沖縄開催時は交通費は半額補助)

特典④ 大分支部での特典企画＝入会後の新規会員補助対応

・青年部新規入会会員交流会

参加補助 3,500円/既会員補助なし

・県内建築女子会 参加補助 3,000円/既会員2,000円

○支部特典 特典⑤ 入会者1名につき支部活動費3,000円の助成

会員増強特別期間の勧誘用
パンフレットです。

(事務局にありますので、
ご利用ください。)

表面(三つ折・外)▶
詳しくは[こちら](#)を
ご覧ください。

来たれ! 新しいチカラ!!

建築士会 会員募集!

生涯の友との出会いがある!!

大分県建築士会 会員増強特別期間

〒870-0001 大分県 電話0974-332-8071 メールinfo@okn-kai.or.jp

<特別期間>

1月～3月 1月入会すれば、最大14,400円お得です!

<入会者特典>

① 新規入会者の入会金免除	1,000円
② 入会から3月までの会費免除	1,300円/月
③ 入会後の新規会員補助対応	青年部新規入会会員交流会 (参加補助) 3,500円 九州建築士の集い (参加補助) 3,000円 県内建築女子会 (参加補助) 3,000円

大分県建築士会の特長

建築士の資格を有する個人会員が揃った会
・1級、2級、3級の建築士資格も有する人が正会員です。
・建築士数が多くても入会できます。
・学費・会費が安く保たれているから入会できます。
・資格取得・士業活動を応援したいため入会できます。

様々な職種・職域の会員で構成されている会
・建築設計・監理 (設計・設計プランナー) 建築設備設計・監理
・行政 (大工) 建築
・不動産 (建築士)

主に公益事業を行う会
・自己啓蒙の実践もします。(建設博物館、各種研究会等)
・まちづくり、暮らしの実践もします。
・社会貢献活動にも参加。よろず相談、生涯学習会等。
・学生奨励にも取り組む。奨励金、奨励品も毎年募集しています。
・社会人ならならぬ高、新卒からの資格取得も支援しています。
・歴史的建造物の調査、建築物グリーン化事業、ビルバスター等。

会員ひとり一人に目をかけた会
・専任スタッフが、相談も受け付けています。
・業種に関する相談も受け付け、個人に合わせた対応もしています。
・月例会、ポイントメール等で最新の建築情報が届きます。

交流会・イベントが多い会
・各支部、九州(建築士の集い) 毎年のネットワークが開催されます。
・懇話会も開催されています。
・会員相互の関係を築く各種イベント・行事が実施されます。
(懇話、ハイキング、登山、ゴルフ等)

会員が多く、会費が安い会
・会費が約1,000円(2023年度)の会費が安いです。
・年会費1,000円(2023年度)と安い会費です。
(この他に、任意での会費があります。)



裏面(三つ折・中)▶
詳しくは[こちら](#)を
ご覧ください。

人とともに

暮らしとともに

地域とともに

報告 ① 第8回おおいた建築セミナーin竹田の開催



12月2日(土)に「第8回おおいた建築セミナーin竹田」が竹田市城下町交流プラザで開催されました。70名の参加者があり、大分支部からも11名が参加しました。

13時30分に式典が始まり、幸会長の挨拶の後、株式会社地域科学研究所の西田稔彦氏から、竹田市を始めとする「エリアリノベーション」の基調講演があり、引き続き、西田稔彦氏、伊藤憲吾氏、河野功寛氏による「エリアリノベーションクロストーク」と繋がり、空家等の有効な空間資源をリノベーションして地域の活性化に繋げて行く活動等が紹介されました。



分科会は、竹田市中心部のまち歩きを、A:城下町コース、B:西田さんとまち歩きコース、C:竹田建築散策フリーコースに分かれて行なわれ、天候にも恵まれて、紅葉する周辺を背景に、武家屋敷通りなどの昔の面影を多く残す歴史ある「城下町」として伝統と歴史を感じる街を堪能しました。

さらに、親睦会は、18時から「友修」で行われ、美味しい料理に各支部から差し入れの「酒・肴」も加わり、フラダンスの余興もあって、楽しく親交を深めました。再会を確認しながら21時頃に終了して、二次会に向かう方、宿に向かう方、帰路に着く方等々に散開しました。



報告 ② 県本部 令和5年度 第2回理事会の開催



県本部の「令和5年度 第2回理事会」が12月6日(水)にレンブラントホテル大分「久住の間」で開催されました。

28名の出席のもと下記の議案を審議いただき、いずれも承認されました。

記

議 事: 1. 令和5年度上半期事業及び予算執行状況について

2. 文化活動部規則(内規)について

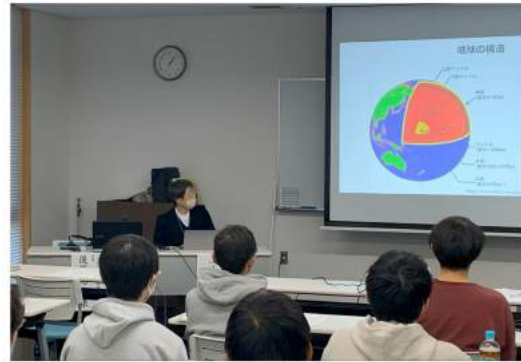
3. 委員会活動の活性化について

4. その他 ・今後の主な日程等について

また、理事会終了後、レンブラントホテル大分「瀬戸の間」で懇親会が開催され、13名の参加により心行くまで親交を深めました。



報告 ③ 被災建築物応急危険度判定実施研修会の開催



地震災害等が起これば、被災した建築物の危険度を判定し、その後の居住が可能であるかの判断が必要となります。

予測なしに発生する災害に対して、平常時の備えとして、12月10日(日)由布市庄内町で木造住宅を対象とした「応急危険度判定実施研修会」が開催されました。

13時に由布市庄内公民館に、会員をはじめ行政関係者、防災士、希望者の33名が参加し、講師に上山容江氏(防災・環境教育ラボ代表・大分市女性防災士会代表)を迎え、「**地震対策の基礎講座**」と題して講演会が始まりました。近年の地震発生の状況、生き延びるための対策、非常持ち出し袋の中身等の実践的な講演でした。



引続き座学を、後藤憲二氏(大分県建築住宅課安心住まい推進監・本会理事)が、応急危険度判定基準、木造建築物の応急危険度調査判定マニュアルについて等、実務体験に基づいての説明がありました。

その後、現場研修の現地に移動し、モデルとなった木造市営住宅の2戸を2人1組で実地研修しました。下げ振りやメジャー、ハンマーの器具や目視で、危険度を判定し、判定ステッカーを張り付けて行きました。16時30分頃終了し、集合写真を撮って解散しました。



新聞記事：応急危険度判定

【大分建設新聞：令和5年12月21日（木）掲載】

※詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

発災時、活動手順学ぶ 応急危険度判定 県建築士会

県建築士会防災委員会（今永和定委員長）は10日、由布市内の約3年連続で災害建築物の応急危険度判定実地研修を開いた。会員をはじめ、県や市の建築関係の部署関係者、防災士、希望者など33人が参加し、應急手順研修で発災時の行動、活動の手順を学んだ。

研修会は、地震や暴風などの自然災害時に建築物の応急危険度判定する判定士の知識・技術の向上、新たな判定士となる人材の育成などを目的に、年一回実施している。

初めに講演会が行われ、大分市女性防災士会の上山容江代表が「地震対策の基礎講座」と題して講話した。近年の日本での地震発生状況、生き延びるためにすべき地震対策、非保持し、ち出し発火家庭での備えなどについて、スライドや動画をを用いて講演した。

ついで、実際の現場での体験を交えて説明を行った。参加者はキーストネ様に現場でのシミュレーションをした。

その後の現場研修では、由布市菅平福上庄宅へ移動し、W造平屋の市営住宅（6巻）を1棟で実際に調査した。判定士が使う調査票や資材を用いて、建築物の傾きや破損状況やチェックし、建築物の危険度を判定。自分たちが判定した危険度と比べて、「判定ステップ」を建築物に貼り付けるなどして現場研修を行った。

後援理事は「実際の応急危険度判定は、発災から3週間以内の実地が理想とされている。災害はいつ起るか分からないため、迅速な行動のためにもこうした研修が何れも大切」と語った。（佐藤芳史）

報告 ④ 令和5年度 第2回大分支部常議員会の開催



「令和5年度 第2回大分支部常議員会」が12月18日（月）にコンパルホール300会議室で開催されました。

会場出席21名、オンライン4名、委任状30名の、総出席者数53名が出席し、下記の議案を審議いただき、いずれも承認されました。

記

- 議 事：1. 令和5年度上半期事業及び予算執行状況について
2. 令和5年度支部公益事業の実施状況について
 3. 役員改選に伴う常議員・本部理事候補者選定委員会の設置について
 4. その他

- 1) おおいたの推しの建築展について
- 2) 建築甲子園について
- 3) 会員増強特別期間等について
- 4) 今後の事業等予定について

報告 ⑤ 建築物グリーン化促進事業

「令和5年度 第2回ネットワーク会議」の開催



昨年度に引き続き大分県の委託事業として「建築物グリーン化促進事業」を、小委員会を組織し検討を進めています。大分支部からも末成祐二委員長をはじめ9名の委員が参加しています。12月19日(火)14時よりコンパルホールで「令和5年度第2回ネットワーク会議」が13関係団体・機関より23名が参加し開催されました。

「ネットワーク会議」は、グリーン化促進に向けて関係団体・機関との意見交換を進める場となっています。今年度の取組状況と今後の予定、来年度の取組概要、事前アンケートの集計結果、事例発表等の意見交換がされました。

特に事例発表では、「西日本土木高田本社ビルにおけるZEBについて」を日本建築家協会の高橋大介氏(大有設計・支部常議員)が裏話を交えて発表されました。

今後の予定としては、1月26日(金)「技術者向け研修会」が大分センチュリーホテルで、2月10日(土)「第2回県民向けフォーラム」が臼杵中央公民館で開催されます。会員の皆様はじめ、会員以外の方もお誘いあわせの上、多数の参加をお願いします。

報告 ⑥ まちづくり・建築よろず相談会の開催

大分市まちなみ企画課・住宅課との協働により大分支部公益事業として、毎月定例で開催しています「まちづくり・建築よろず相談会」が、12月21日(木)10時から15時までJ:COMホルトホール大分のまちづくり情報プラザで開催されました。

この日は相談員の江藤邦雄さんと、高木克明さんが対応いたしました。



次回は、来年1月18日(木)です。開催案内は、大分市報速報、J:COMホルトホール大分のホームページ(イベントカレンダー)、掲示板、チラシ置き場(市民図書館横の腰壁)でもご案内しております。皆様の周囲の方でご相談を希望する方にお知らせください。



なお、よろず相談員を随時募集していますので、事務局(阿南・山田)までお気軽にご連絡ください。お待ちしております！

電話:097-532-6607 メール:info2@oita-shikai.or.jp

案内 ① 今後のイベント等 (3月先までの予定)

※いずれの行事も予定です。中止や延期の場合があります。

【凡例】

★①(黒塗潰し星・数字):「案内①今後のイベント等」で詳細案内

☆①(白抜き星・数字):「案内②定期スケジュール」で詳細案内

1月 会員増強特別期間(3月末まで)

●10日(水)☆①.監理技術者講習 @事務局会議室

- 16日(火)☆③.既存住宅状況調査技術者講習(更新) @事務局会議室
- 17日(水)☆②.建築士定期講習(協会受付) @大分職業訓練センター
- 18日(木)☆④.まちづくり・建築よろず相談会 @J:COMホルトホール大分
- 26日(金)★①. 建築物グリーン化促進事業
「令和5年度第2回技術者向け研修会」@大分センチュリーホテル
- 下旬 第1回常議員・理事候補者選定委員会

2月 会員増強特別期間(3月末まで)

- 10日(土) 建築物グリーン化促進事業
「令和5年度第2回県民フォーラム」 @臼杵中央公民館
- 中旬 来年度公益事業要望書本部提出
- 14日(水)☆①.監理技術者講習 @事務局会議室
- 15日(木)☆④.まちづくり・建築よろず相談会 @J:COMホルトホール大分
- 17日(土) 建築写真の撮り方とその活用方法 @アートプラザ
- 18日(日) 空家相談会 @ホルトホール
- 25日(日) おりがみ建築教室出前教室 @コンパルホール
- 下旬 第2回常議員・理事候補者選定委員会

3月 会員増強特別期間(3月末まで)

- 上旬 第3回大分支部常議員会
- 9日(土) 県本部親睦事業 大入島オルレ
- 12日(火)☆②.建築士定期講習(協会受付) @大分職業訓練センター
- 13日(水)☆①.監理技術者講習 @事務局会議室
- 19日(火) 県本部 第3回理事会 @コンパルホール
- 21日(木)☆④.まちづくり・建築よろず相談会 @J:COMホルトホール大分
- 下旬 第2回常議員・理事候補者選定委員会

以降 来月開催予定の詳細

★①.建築物グリーン化促進事業 「令和5年度

第2回技術者向け研修会」の開催 @大分センチュリーホテル

大分県の委託事業として「省エネ建築物の普及促進への体制を整備し、住宅・建築物の環境品質の向上を目指す」ことを目標に小委員会を組織し検討を重ねています。「第2回技術者向け研修」を下記のとおり開催いたします。

特に今回は、住まいと環境社代表の野池政宏氏に温熱環境、省エネ、パッシブデザインについて講義して頂きます。また、野池氏は、省エネ算プログラムの開発にも携わっており、県内事業者による活用例の講評もいただきます。

会員の皆様はじめ、近隣の方もお誘いあわせの上、多数の参加をお願いします。

記

日 時: 令和6年1月26日(金) 13:30～16:30(開場:13:00)

会 場: 大分センチュリーホテル 「桜の間」

(大分市府内町1丁目4-28)

会 費: 無料(定員80名程度)

内 容: ①「建築物グリーン化促進事業建築物グリーン化事業の進捗状況について」

発表: 大分県建築士会 建築物グリーン化促進事業推進小委員会

②「内部結露対策に関する基礎知識」

講師: 野池政宏氏(住まいと環境社代表)

③県内事業者による省エネ計算ツールの活用例と講師による講評

紹介者: 県内事業者2社を予定

案内 ② 定期スケジュール (年間予定)

☆①.監理技術者講習の開催(監理技術者以外の方も受講可能)

大分県建築士会では毎月建築工事の事例を多く採りあげた内容で「監理技術者講習」を開催しています。特に、一級建築士、1級建築施工管理技士、1級電気工事施工管理技士、1級管工事施工管理技士等の「建築工事の分野で活躍されている監理技術者」にとりましては、実務に役立つ充実した内容のテキストを使用して講義を行います。講習会日程は下記のとおりです。CPD6単位が付与されます。

なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講可能です。日頃の工事監理業務に役立ちますので、是非ご受講ください。

【令和5年度の開催予定】

毎月「第2水曜日」の開催予定です。

○日 程: 令和5年

4月12日(水) 済

5月 未開催 済

6月14日(水) 済

7月12日(水) 済

8月 9日(水) 済

9月13日(水) 済

10月11日(水) 済

11月 8日(水) 済

12月 未開催

令和6年

1月10日(水)

2月14日(水)

3月13日(水)

○時 間: 8:50～16:40〔受付8:30開始〕

※8:45～ 8:50の5分間に講習の運営説明があります。

○会 場: (公社)大分県建築士会会議室

○形 式: DVD講習

○定 員: 各回3名程度

○受講料: WEB申込 9,500円／窓口・郵送申込 10,000円

※受講申し込みは[日本建築士会連合会HP](#)よりお申込ください。

☆②.建築士定期講習の開催

建築士事務所に属する建築士に3年毎の受講が義務付けられた定期講習です。令和5年度の受講対象者には4月上旬に(公財)建築技術教育普及センターより「プレ印字版」の受講申込書をご自宅宛てに送付されています。(前回3年前の講習を、(公財)建築技術教育普及センターで受講した方のみ)

【受講対象者】

前回受講年月日が令和2年4月1日～令和3年3月31日の所属建築士の方

【令和5年度の開催予定】

年8回の開催予定です。会場が大分、中津、日田の3会場です。

また、受付窓口を建築士会、建築事務所協会で担当していますので、お間違えの無いようお願いいたします。

○日 程:令和5年

4月～6月 未開催 済

7月19日(水) 済

(大分会場/受付窓口:建築士会)

8月23日(水) 済

(中津会場/受付窓口:事務所協会)

9月 6日(水) 済

(大分会場/受付窓口:事務所協会)

10月24日(火) 済

(大分会場/受付窓口:建築士会)

11月14日(火) 済

(日田会場/受付窓口:建築士会)

12月14日(木) 済

(大分会場/受付窓口:建築士会)

令和6年

1月17日(水)/12月 4日受付～定員次第

(大分会場/受付窓口:事務所協会)

2月 未開催

3月12日(火)/ 1月22日受付～定員次第

(大分会場/受付窓口:事務所協会)

○会 場:大分、中津、日田の3会場

大分会場/大分職業訓練センター

中津会場/中津建設会館

日田会場/日田市AOSE 多目的ホール

※申込については、窓口申込の他、郵送での申込を受付けています。

※申込書のダウンロードについては、(公財)建築技術教育

普及センターのホームページをご覧ください。

<https://www.jaeic.or.jp/koshuannai/teikikoshu/kteiki/index.html>

※(公財)建築技術教育普及センターでは、講義から修了考査まで全てを

オンラインで完結する「オンライン講習」も実施しています。

詳細は、こちらをご覧ください。

[オンライン講習\(WEB講義+WEB修了考査\) 建築技術教育普及センター](#)

[ホームページ \(jaeic.or.jp\)](http://jaeic.or.jp)

☆③.既存住宅状況調査技術者講習(新規・更新講習)の開催

改正宅建業法の重要事項説明の既存住宅状況調査をするには、この講習を修了し、登録されることが必要です。

※資格を取得した年度の3年後の年度末までが有効期限となります。

有効期限が終了するまでに更新講習を受講すると継続的に資格を保持できます。

【令和5年度の開催予定】

○新規講習(年1回開催)

日 程:令和5年11月22日(水) **済**

開 場:(公社)大分県建築士会会議室

○更新講習(年2回開催)

日程①: 令和5年8月22日(火) 済

開 場: コンパルホール

日程②: 令和6年1月16日(火)

開 場: (公社)大分県建築士会会議室

申込と詳細については、下記URLの連合会のHPの「既存住宅状況調査技術者講習」をご覧ください。

<https://www.kenchikushikai.or.jp/koshukai/kizonjyutakujoyokyocho.html>

【オンライン学習(新規講習・更新講習)のご案内】

インターネット環境の整ったご自宅のパソコンや職場のパソコンにて受講可能です。修了考査の解答までオンラインで完結します。

☆④.まちづくり・建築よろず相談会の開催

本年度の大分支部公益事業として、大分市まちなみ企画課・住宅課と(公社)大分県建築士会の協働により、まちづくりや住宅等に関する身近な相談を受ける場を定期的を開催しています。

今年度より省エネについても相談を受け付けています。下記のとおり開催しますので、皆様の周囲でお困りの方がいましたら周知いただき、お気軽にご相談ください。

❖ 都市計画や、区画整理事業、地域の活性化、まちの景観向上などのまちづくりに関することは、大分市まちなみ企画課が、空き家問題に関することは、大分市住宅課(空き家相談出張窓口)が相談を受けます。

❖ 木造住宅の耐震化や、省エネ、住宅等の設計・増改築、工事、トラブルなどでお困りの相談に、大分県建築士会大分支部会員(建築士資格を持った会員)が建築専門家としての立場から適切な意見やアドバイスを行います。
(現在係争中の案件は相談対象外となります。)

【令和5年度の開催予定】

毎月「第3木曜日」の開催予定です。

(大分市まちなみ企画課・空き家相談出張窓口と同時開催)

○日 程:令和5年

4月20日(木) 済

5月18日(木) 済

6月15日(木) 済

7月 9日(日) 済「建築士の日」記念事業

7月20日(木) 済

8月17日(木) 済

9月21日(木) 済

10月19日(木) 済

11月16日(木) 済

12月21日(木) 済

令和6年

1月18日(木)

2月15日(木)

3月21日(木)

○時 間:10時～12時(休憩)13時～15時

○会 場:J:COMホルトホール大分

1階 まちづくり情報プラザ(図書館入口横)

○相談料:無料

○その他:相談内容がわかる資料(図面、写真、契約書など)があれば
お持ちください。

案内 ③ 連合会からのご案内

▲ 1.建築士賠償責任補償制度(けんばい)

耐震偽装事件以降、国民の建築業界への不信が高まる中、建築物の安全性を確保するために重要な役割を担う建築士として、日々適正な業務遂行のために力を注いでおられることと思います。

一方で、品質管理をどんなに徹底しても、不測の事故が発生してしまう可能性を完全に排除することができないのも現状です。

このような事態に備え、公益社団法人日本建築士会連合会を契約者とし、建築士会会員が経営・勤務または所属する事務所の方を加入者とする建築家賠償責任保険、請負業者賠償責任保険、サイバーリスク保険の団体契約のご案内です。

建築士としての業務の安定化を図り、不測の事態への賠償資力を確保するために、より多くの会員事務所が本制度にご加入されますようご案内申し上げます。

※概要につきましては、[こちらのチラシ](#)をご覧ください。

※詳しい内容や保険料、お申込みについては[日本建築士会連合会HP](#)をご覧ください。

▲ 2.民間(七会)連合協定工事請負契約約款の改正について

令和5年1月1日付で民間(七会)連合協定工事請負契約約款が改正されています。

1月1日以降現行約款を使用される場合には発注者・受注者間において、工事請負契約約款の特約として、「変更合意書」を締結の上ご使用くださいますようお願い申し上げます。

令和5年度より大分県建築士会事務局では、改正版を取り扱っています。

○金額(税込) 会員:837円 一般:930円

※詳しくは、以下の(公社)日本建築士会連合会ホームページをご覧ください。

<https://aba-svc.jp/cur/main/index.cgi?mode=detail&iid=4&tm=1669102962>

▲ 3.民間(七会)連合協定 小規模建築物工事約款、 マンション修繕工事約款、 リフォーム工事約款の改正について(お知らせ)

民間(七会)連合協定工事請負契約約款(元請契約約款)を令和5年1月1日付で改正することをお知らせいたしました。今般、当委員会が発行する「小規模建築物・設計施工一括用工事請負契約約款」「マンション修繕工事請負契約約款」及び「リフォーム工事請負契約約款」につきましても、令和5年(2023年)2月1日付で同様の改正を行うことと致しましたので、この旨お知らせいたします。

今回の改正の目的は、反社会的勢力排除のさらなる徹底を図るため暴排条項を充実させたこと(三約款共通)並びに危険な盛土等の発生を防止するため建設発生土の搬出先等を明確化すること(小規模建築物工事約款のみ)にあります。

1. 改正内容(新旧対照表)

- 小規模建築物・設計施工一括用工事請負契約約款

<http://www.gcccc.jp/info/microbuilding-r0502-old-and-new-list.pdf>

- マンション修繕工事請負契約約款

<http://www.gcccc.jp/info/condominium-r0502-old-and-new-list.pdf>

- リフォーム工事請負契約約款

<http://www.gcccc.jp/info/renovation-r0502-old-and-new-list.pdf>

2. 約款改正日 令和5年(2023年)2月1日(三約款共通)

(改正約款販売開始日2月20日以降)

3. 現行約款への対応

当委員会では、上記のとおり令和5年(2023年)2月1日付で当委員会約款を改正することから、その日以降に現行約款を使用される場合には、発注者・受注者間において、工事請負契約の特約として、別紙「変更合意書」を締結の上、ご使用下さるようお願い申し上げます。

※変更合意書は現行版(令和2年4月改正版)本契約書締結と同時に、別途に双方記名押

印して取り交わすことを予定しています。本契約を補充する文書として、200円の印紙の貼付が必要です。

(変更合意書)

○小規模建築物・設計施工一括用工事請負契約約款

<http://www.gcccc.jp/info/microbuilding-r0502-modification-agreement.pdf>

○マンション修繕工事請負契約約款

<http://www.gcccc.jp/info/condominium-r0502-modification-agreement.pdf>

○リフォーム工事請負契約約款

<http://www.gcccc.jp/info/renovation-r0502-modification-agreement.pdf>

▲ 4.免状型の一級建築士登録証明書」の発行

近年、カード型の一級建築士免許証明書の交付を受けた建築士等から、一級建築士の免許を保有している事を証明するものを、建築事務所に掲示したい要望に対応するため、「免状型」の一級建築士登録証明書(事務所等掲示用)を発行する事になりました。

○発行手数料： 1,780円

○証明される内容：氏名(フリガナ)、生年月日、登録番号、登録年月日
など

※詳しくは、[こちらのチラシ](#)をご覧ください。

案内 ④ 図書・書式のご案内

▲ 1.各種契約書類及び契約約款(改正版)の発刊

民法等の改正を踏まえた以下の改正版(令和2年4月改正)が発刊されています。

○「四会連合協定 設計・監理業務委託契約書類」

- ・一般価格 1,320円(税込)
- ・会員価格 990円(＼)
- 「四会連合協定 小規模向け設計・監理業務委託契約書類」
 - ・一般価格 1,100円(税込)
 - ・会員価格 880円(＼)
- ◎「民間連合協定 工事請負等契約約款契約書関係書式」
 - ・一般価格 930円(税込)
 - ・会員価格 837円(＼)
- ◎「小規模建築物・設計施工一括用工事請負等契約約款契約書関係書式」
 - ・一般価格 900円(税込)
 - ・会員価格 809円(＼)
- ◎「民間連合協定 マンション修繕工事請負契約約款契約書関係書式」
 - ・一般価格 930円(税込)
 - ・会員価格 837円(＼)
- ◎「民間連合協定 リフォーム工事請負契約書類(書式・約款)」
 - ・一般価格 580円(税込)
 - ・会員価格 522円(＼)
- 改正日 令和2年4月1日

※印の書式は次回入荷分から価格改定を行います。(在庫分は現行価格)

※連合会発行「会報 建築士」令和3年9月号に契約約款の特集記事が掲載されております。

※図書の問合せは、士会事務局までご連絡ください。

電話:097-532-6607 メール:info@oita-shikai.or.jp

連載 まっちゃんの伝建地区を巡る旅



松崎和夫さん(本会事務局長・専務理事)が、建築士会の「おおいた地域貢献・まちづくり推進委員会」の委員長や、「町並みとまちづくりを考える県民の会」にも所属され、伝統的建造物や歴史的な町並みの奥深さに魅了されて、伝建地区を巡っていると聞き、寄稿をお願いしました。

巡り歩いた全国の伝建地区を連載で紹介します。

第11回 伝統的建造物群保存地区を巡って (番外続編)フランス「モンサンミッシェル」

◆数々の遍歴を持つ世界遺産「モン・サン・ミッシェル」

約1,300年間、数奇な運命を辿ったモン・サン・ミッシェル。聖なる巡礼地としての修道院は1979年に世界遺産に登録されている。

14世紀から16世紀にかけては英国軍に備えるため要塞化、ナポレオン統治時代には牢獄として使われ「海のバスターユ」とも言われた。

また、12回もの火災に見舞われており、その度に増改築を繰り返しているが、巡礼者にとっては孤高のサンクチュアリであることに間違いはない。

第二次世界大戦時、連合国軍の上陸作戦で有名なノルマンディーに位置する彼の地には、パリ中心部から出発して、途中港町オンフルールを経由して約4時間のバスを利用した。

幸い天気にも恵まれ、遠くに霞んで見える姿から、近づくと連れてその威容で荘厳な全容がくっきりと現れてくる。満々たる海に囲まれた城塞をイメージしていたが、砂上の楼閣と化し車の走行可能なアクセス道路の両岸も砂に埋め尽くされていた。



海に囲まれた昔の姿を取り戻す為2015年から長年にわたり海洋環境整備プロジェクト工事が行われている。かつては潮が引いた時を見計らっての往来であったり、資材の搬入などは船からであったらう。



- 教会上層階からアクセス道路と対岸を望む。特に対岸側は、砂地となっている。



苦勞して辿り着いた巡礼者に提供していたオムレット(ご当地特有のふわふわオムレツ)や、沿岸では料理人に有名なゲラントの塩の産地、塩分を含む餌を食む羊など、食文化も豊であるとのこと。リンゴ酒であるシードルはご当地特産の青りんごからも造られる。



- オムレットとシードル



- 教会入口に向かう参道沿いの土産品店

海と天空の間に佇むこの修道院は大天使ミカエルに護られた聖なる場所。オベール司教がこの地に神から告知を受けたのは708年のことであった。建築様式は10～11世紀建築のロマネスク様式、12～13世紀増築時がゴシック様式となっているようであり、増改築が幾度となく繰り返されている。

モン・サン・ミッシェルは周囲約800mほどの島で、島の入口は本土から南側の一か所である。王の門と呼ばれる、堀に小さな跳ね橋と落とし格子門を抜けると、細い参道の道が続く。その参道を登って行くと、壮大でまさに西洋の修道院を代表するような外観である教会を下から見上げるよう

な位置に来る。レストランやお土産屋さんが両方に並ぶ緩やかな坂道を10分ほど歩くと、教会の入口に到達する。階段や急な坂道が多く、バリアフリーとは無縁の世界(空間)であるように感じた。パリの美術館に後に備えられていたエスカレーターやエレベーターは、これだけ複雑な増改築が繰り返され、上層部までの石造を掻い潜っての昇降機設置は不可能と考えられる。外部に全く別の施設を作り、教会の各階にそこからアクセスするにしても内部の横移動、上下移動も儘ならない大規模で複雑な建造物である。



●黄金に輝く天使ミカエルを尖塔に頂く。
限られた空間のなかで重機のない時代どのような施工方法だったのか



●礼拝堂 北側は12世紀ロマネスク様式で内陣と後陣は15～16世紀ゴシック様式

木造建築物としての復元を検討する中でバリアフリー対応が論争となっている名古屋城を思い出した。周囲に資材置き場や石などの加工スペースもないこの地(島)でどのように施工したのかも興味を引くところである。

また、宗教施設の立地場所として、教徒にとってアクセスの良い場所と、反対にまさに秘境といわれる場所の立地が考えられるが、苦勞するが故に辿り着いて参拝できると救われるということになるのだろうか。県内でも身近な町の中にあるいつでもお参りできる社寺仏閣と、一方で国東の護摩焚きで有名な文殊仙寺や院内町の龍願寺など秘境といわれるところに施設は存在する。



●参道からの見上げ



●増改築時の状況

最上階には修道士の為の瞑想と憩いの為の空間がある。列柱廊は紫色(大理石!?)の柱が137本並び、教会内部の少し暗くて荘厳な空間から解き放たれた自由に明るく華やかな空間でもある。

約半日を当地で過ごしたが、王の門から入場し、お土産品店の並ぶ狭い参道を登り、施設(内部)は多くの空間が複雑に配置されており、ガイドの案内無しでは迷子になりそうである。数奇な運命を反映した多くの空間は、少し暗いせいもあり当時を生き抜いた司祭や信者や軍人や収監された罪人の声が秘かに聞こえそうな雰囲気でもあった。

今回は、現地在住でモンサンミッシェルを研究している日本人の青年ガイドに案内して頂いた。帰国後、施設を紹介する専門書も買い込んで、歴史を紐解きながら熟読したが、文化、宗教、慣習、風土などの違いからか、読み終えるまでかなりの時間を要し、理解ができないところも多々あった。



約1,300年間の数奇な運命をそんな容易に理解できるわけがないと悟ったところで、少し溜飲が下がった思いであった・・・

●最上階の屋外空間(中庭)

うまく撮れていないが、

柱上部内側にはキリスト、

ぶどう収穫人、竜などの彫

刻が見事である。



連載 ザキヤマさんの秘境奇行



山崎豊史さん(佐伯建設設計部／本会副支部長)が、廃墟や、秘境を巡るマニアックな？趣味をお持ちと聞き、寄稿をお願いしました。

山崎さんが、「秘境めぐり」や「廃村廃墟めぐり」をしようと思ったきっかけは子供の頃から地図を見るのが大好きで都会よりも山岳集落や離島集落での暮らしや歴史に興味を持ち始めたのが始まりで、現地に踏み入り当時の想いを馳せ身をもって体験したいとの思いがあったとのことでした。

「秘境めぐり」「廃村廃墟めぐり」を連載で紹介します。

隔月寄稿としました。来月をお楽しみに!!

交流ひろば

日本には広場が少ないと、故 村松幸彦先生(元建築士会会長)がよくおっしゃっていました。多くの参加者が集い、この場が会員相互を繋ぐ「ひろば」になれば良いなあと思います。

お気軽にドシドシ

寄稿

してください!!

話題の建築

私のほっとHotタイム

オシケン オシホン オシカツ

残念ながら、今月は寄稿がありませんでした。

自薦、他薦、有名、無名、地域等を問いませんので、事務局(阿南・山田)までお気軽にお寄せください。お待ちしております!!

電話:097-532-6607

メール:info2@oita-shikai.or.jp

新聞記事:建築物グリーン化促進
事業 県民フォーラム

【大分建設新聞:令和5年11月18日(木)掲載】

※詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

建築物グリーン化へ 県建築士会が講演会

県建築士会(幸勝美会長)は11日、別府市で開催された第1回県民向けフォーラム内で、会員や一般来場者向けの「住まいから考える、わたしたちと地球にやさしい暮らし」と題した講演会を開いた。県民約45人が参加し、講演会もトークセッションを通して、脱炭素社会の建築、これからの住まいの在り方について知識を深めた。

講演会は、県が建築物グリーン化の促進に向けて取り組んでいる事業の一環で開催。初めに幸会長が「地

球温暖化に対する対策は、工業部門だけでなく民間戸建て住宅でも取り組んで行かなければならない」との認識。建築物グリーン化を促進し、家の断熱性を高めることは太陽光発電を設置するとは、エネルギーの余剰消費を抑え、健康にも設計にもプラスになる。講演から、いまの住まいでもできるなどのポイントを、何か持っていてほしい」と呼びかけた。

東北芸術工科大学デザイン学部建築・環境デザイン学科教授の竹内昌義氏が



「脱炭素社会の建築」と題して講演。エコハウス、学校、施設的设计やまちづくり、エコタウンにする取り組みなどに関わった経験から「脱炭素社会は本当に実現できるのか、実現に当たり何が重要か、他県での省エネ住宅の制度はどうか」とい

あいさつする幸会長
「いなか、建築家が直面する課題性やデザイン性の両立」などについて、参加者の意見を丁寧にフィードバックしていった。

続いて安藤剛氏(安藤剛設計代表)、柿木のぶ氏(無環境教育アドバイザー)、浅野雅治氏(前建設局長)、下地真奈氏(日本建築士会連合会理事)が登壇し、それぞれの立場から見る「住まいの在り方」について、建築セッションが行われた。参加者は、意見を述べながら質疑した面持ちで発言し、他者の意見を聞くことにより、脱炭素社会、省エネ住宅について知識を深めていった。

フォーラムは、アースデイおおいなどの共催で開催された。県民の多様な声を受け、地球温暖化対策SDGsに関する商品やサービスを取り扱う「ルシェ」も同時開催された。

(佐藤万実)

新聞記事:松村秀一講演会「ひらかれる建築」

【大分建設新聞:令和5年11月21日(日)掲載】

※詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

「ひらかれる建築」講演会

県建築士会大分支部(伊藤繁吉支部長)は26日、日本文理大学エクステンションセンター18階視聴覚室(大分市大手町1丁目45)で、早稲田大学理工学術院総合研究所上級研究員・研究員教授の松村秀一氏を講師に迎え「ひらかれる建築」と題した講演会を開く。

講演のテーマは、「ひらかれる建築」の姿を、「民主化」をキーワードに、「三つの世代」の特徴と変遷から描き出すというもの。これからの建築に携わる全ての人に向けた熱い講演内容となっている。

時間は午前11時30分〜午後1時30分まで。開場は午前11時から。参加料は無料、定員は先着80人。申し込みは同支部(TEL097-56002)・66007へ、もしくはメールアドレス(info@oita-shikai.or.jp)まで

(佐藤万実)

大分支部青年部「班員の募集」について



大分支部青年部には、情報班、まちづくり班、造形班の三班があります。

職場も職種も違う同年代が集まり、楽しく活動していますが、より発展的な活動のためにも班員が不足気味です。

班員を随時募集してますので、事務局(阿南・山田)までお気軽にご連絡ください。

お待ちしております!!

電話:097-532-6607 メール:info2@oita-shikai.or.jp



大分支部 賛助会員一覧

【法人会員:38社】

- ・日本製鉄(株)九州製鉄所 ・(株)佐伯建設 ・梅林建設(株) ・平倉建設(株)
- ・東九州設計工務(株) ・後藤建設(株) ・鬼塚電気工事(株) ・協栄工業(株)
- ・日本暖房鉄工(株) ・(有)中山建材店 ・野内硝子(株) ・(株)三高産業

- ・(株)総合資格大分支店 ・(株)江藤建設工業 ・(株)建築資料研究社大分支店
- ・(株)飯田建築設計事務所 ・(有)佐藤建築設計事務所 ・(株)熊野建設
- ・柴田建設(株) ・(株)平和建設 ・東洋建販(株) ・(株)大分電設 ・(株)古城
- ・柳井電気工業(株) ・(株)エンワ ・庄司工業(有) ・YKKAP(株)大分支店
- ・オリエント産業(株)大分支店 ・(株)栄工社 ・(株)大分住宅研究室
- ・(株)松村硝子店 ・豊國建設(株) ・新日本法規出版(株) ・新成建設(株)
- ・大分県インテリアコーディネーター協会 ・日本加除出版(株)
- ・積水ハウス(株)大分支店 ・(株)シーピーユー九州支店

【個人会員：16名】

- ・岡本様 ・佐藤様 ・山下様 ・(株)清電社8名 ・(株)安部電業社3名
- ・アトリエ藤原次郎 ・(株)後藤泰幸建築工房

※順不同

賛助会員とは、士会定款第6条第4項に「個人又は団体で本会の事業を賛助するものとする。」と定められた会員の方です。

本会の活動の趣旨に賛成して、助力をいただいております。

法人会員の住所等は、[こちら](#) をご覧ください。

事務局よりお知らせ

急に寒くなりましたが、体調を崩してはいませんか？

さて、もう年賀状は出されましたか？ 版画や手書き、写真等の手の凝ったオリジナルな年賀状を頂くとありがたく、楽しくなるものですが、新年の季語・風物詩でもある「年賀状」も、最近ではデジタル化の目まぐるしい進展もあり、さらにSDGs推進の一助として、年賀状による新年の挨拶を廃止する個人や事業所、組織・団体等も多くなってきました。通信手段は、スマホを始めデジタル化が当たり前となり、年内(12月25日まで)に出して元旦に届く郵便制度のタイムラグや、経済効果も望めない事も敬遠される一因であるようですね。

しかし、マイナンバーカードを始め、レジ、航空券、通帳等々のデジタル化で困惑している高齢者も多くいます。そのうち淘汰され、当たり前の風景になるのでしょうか、高齢者もデジタル化の学習をして、世の流れに馴染んでいくしかないのかなあと思いつつ年を越します。

一年間「事務局ニュース」をご覧いただきありがとうございました。

良いお年をお迎えください。

阿南・山田



大分県建築士会事務局に寄せられた「ウクライナ人道危機救援金」の募金額

1月	8,094円
2月	14,332円
3月	5,458円
4月	5,040円
5月	5,383円
6月	5,340円
7月	4,288円
8月	4,282円
9月	5,021円
10月	3,307円
11月	1,163円

※募金箱は事務局に常設していますので、引き続きご支援をよろしく申し上げます。

皆さん!!「事務局ニュース」の紙面づくりに参加しませんか!!

記事投稿、話題提供、ご意見、ご感想などを、事務局(阿南・山田)までお気軽にお寄せください。お待ちしております!!

電話:097-532-6607 メール:info2@oita-shikai.or.jp

※掲載された写真等をご希望の方は、事務局へご連絡ください。



大分県建築士会大分支部メール 2023(令和5)年12月27日発行 第**116**号
事務局:〒870-0045 大分市城崎町1丁目3番31号 富士火災大分ビル3階
TEL:097-532- 6607 FAX:097-532-6635

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩

This email was sent to info2@oita-shikai.or.jp

[why did I get this?](#) [unsubscribe from this list](#) [update subscription preferences](#)

大分県建築士会 大分支部 · info2@oita-shikai.or.jp · Oita, 44 870-0045 · Japan

